

晦日までは毎日一葉ずつ落とし、これによって暦が作られたとされる。こよみぐさ。(『漢語林』)。

② 「桂樹」の例

『初学記』「卷第二」「月第三」の「事対」に、「虞喜安天論曰、俗傳月中仙人桂樹、今視其初生、見仙人之足、漸已成形、桂樹後生」の一文がある。

③ 「蚌蛤」の例

『藝文類聚』「卷二」「天部上」「月」に、「呂氏春秋」曰、月羣陰之本、月望即蚌蛤實、羣陰盈、月晦則蚌蛤虚、羣陰擊、夫月形于天、而羣陰化為川」の一文がある。

④ 「白兔」の例

『藝文類聚』「卷二」「天部上」「月」に、「傳咸擬天問曰、月中何有、白兔擣藥、興福降祉」の一文がある。
▼道真は、こゝでは「②桂樹」の用例を句作りで使っている。

(野田 了介)

484 敘意二百韻 (19) 145句から152句

本文

平仄

147 146 145

山看遙縹綠
水憶遠潺湲
俄頃羸身健

○○○○●●
●●○○○○
○○○○●●